

変えなければならぬ男の意識

男女共同参画社会の実現に向けて

男女共同参画社会の実現は、二十一世紀の日本社会を決定する最重要課題です。今なぜ「男女共同参画」が必要とされているのか、熊本県人権擁護委員連合会 高木 絹子会長に話を伺いました。

遅れている日本の男女共同参画

「男性も女性も互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いながらその個性と能力を十分に発揮できる」というのが男女共同参画社会です。日本は、法制度は整っていますが、実際はまだ男女平等でないことが多いですね。男性の優位性や※社会的性別(ジェンダー)の意識はそんなに簡単には変わりません。例えば、平均賃金は、女性は男性の約七割弱。雇用形態も、契約社員や嘱託など、女性は非正社員が多いです。ほかの国と比較しても、日本は男女共同参画が遅れており(下表参照)、熊本県も同じ傾向にあるといえます(「男女共同参画に関する県民意識調査」平成十七年二月)。

男女共同参画と少子化問題は表裏一体

年々深刻になってきている少子化問題も、こうした雇用条件と無関係ではありません。女性にとって働きづらい社会では、安心して子どもを産むことができません。男女共同参画と少子化問題は、実は表裏一体の問題なのです。また、ドメスティック・バイオレンス(配偶者や恋人などからの暴力)やセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)に関する意識もまだまだ低いですね。女性に暴力を振るったり、「女のくせに」という言葉を平気で使ったりする男性も少なくありません。

男性にもメリットが大きい男女共同参画社会

一見、男女共同参画社会とは、女性のための社会のようですが、実は男性にとっても住みやすい社会なんです。



熊本県人権擁護委員連合会会長 弁護士 高木 絹子さん

「女らしさ」の固定概念から解き放たれ、羽ばたいている女性にはたくさんいます。男性もそろそろ「男らしさ」から解き放たれていいのではないのでしょうか。

会社でも家庭でも、「男は強くなければ」「弱音を吐いたら負け」と思い込んで無理をしている男性が多いようです。支配することが「男らしい」と思っていないのでしょうか。でも、そんな考えにとらわれる必要はありません。相手の意見をよく聞き、自分の思いを言葉でちゃんと伝えられることこそ、男女共に格好良いことだと思います。家庭では、「夫婦で助け合う」という意識が足りない男性が多いですね。男女共同参画社会には、自己実現や子育てに参加する喜びなど、男性にも大きなメリットがあります。楽しい人生を過ごすために、男女共同参画に一步踏み込んでみることも大切だと思います。

※人間には生まれつきの生物学的性別(セックス/sex)があります。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的性別」(ジェンダー/gender)といっています。

表/人間開発に関する指標の国際比較 出典:人間開発報告書(2005年)

基本的な人間の能力がどこまで伸びたかを示すHDIが177カ国中11位であるのに対して、政治および経済活動への女性の参画を示すGEMは80カ国中43位と大きく落ち込んでいます。

■人間開発指数(HDI)

順位	国名	HDI値
1	ノルウェー	0.963
2	アイスランド	0.956
3	オーストラリア	0.955
11	日本	0.943
12	オランダ	0.943
13	フィンランド	0.941

HDI:平均寿命、教育水準(成人識字率、就学率)、1人当たり国民所得を用いて算出

■ジェンダー・エンパワメント指数(GEM)

順位	国名	GEM値
1	ノルウェー	0.928
2	デンマーク	0.880
3	スウェーデン	0.857
41	マケドニア	0.555
42	タンザニア	0.538
43	日本	0.534

GEM:国会議員、専門職、技術職、管理職に占める女性の割合などを用いて算出



平成17年度熊本県男女共同参画推進事業者表彰 受賞企業 飯塚電機工業株式会社 長く働き続けてくれることが会社の総合力につながる

社員には、採用した以上、できるだけ長く会社に貢献してほしいと思っています。そのために、女性に限らず、全社員が安定して働ける環境づくりに取り組んでいます。男性だけでなく女性も経験を積み、長く働き続けてくれることが会社の総合力につながるの考えから、平成6年から育児、介護休業制度を導入しています。管理職や採用面接官への女性の登用も行っています。



業務システム本部長 桃園 茂さん

県が行っている「男女共同参画社会づくり地域リーダー育成派遣研修」に平成17年度に参加しました。研修で、男女共同参画とは、男性と女性がそれぞれの個性や能力を生かして「パートナーシップ」の関係を築くことだと感じました。研修後は「くまもと県民交流館パレア」の情報ライブラリーから、「男女共同参画社会づくり」のビデオを借りるなどして社員研修を実施、社内でのさらなる意識改革と仕組みづくりに取り組んでいます。



経営管理課課長 村上 雅一さん

社内研修で初めて「男女共同参画」という言葉を知りました。普段あまり意識していませんでしたが、社内の雰囲気は、男性社員、女性社員の協力関係があつて非常に仕事がやりやすいです。職場でも家庭でも、男性、女性の協力関係を築くことが大切だと分かりました。

社員の声

大切なのは、男性と女性の「協力関係」

経営管理課主任 濱田 博紀さん



経営管理課主任

はまだ ひろき 濱田 博紀さん

「男女共同参画週間 in パレア」のお知らせ

6月23日(金)~29日(木)は「男女共同参画週間」です。くまもと県民交流館パレア(熊本市)で講演会やワークショップなどを開催します。*8ページ「来て見てたより」をご覧ください。

お問い合わせ先

熊本県男女共同参画・パートナーシップ推進課 男女共同参画班
☎096-333-2287 FAX096-387-3940
電子メール danjyokyoudou@pref.kumamoto.lg.jp
ホームページ http://www.danjyo.pref.kumamoto.jp/